

# Community School Information No.17

令和2年11月 発行  
かほく市立河北台中学校  
校長 荒山 浩  
SCN 本多 詩麻



## 1年生総合的な学習「防災学習」

### 数年後、君たちが地域を支える大人になる

9月11日、地域の防災士である今本時美氏を講師にお迎えして「災害の軽減は「自助・共助・公助」の組み合わせで軽減できること、ライフラインの復旧に関すること、地区ごとの避難場所の確認」等のお話を聴くことができました。この学習を通じて、1年生にはぜひ、「自分の身は自分で守ること」「数年後は自分が地域を支える人材になること」を実感する機会があればと考えます。



また、15日(火)は「防災学習の日」を実施しました。ナップザックを「非常持ち出し袋」と仮定し、各自で中身を工夫し登校しました。クラスで持参したものと、その理由についてグループで話し合いました。

また、会場を体育館に移動し「避難所運営シュミュレーション」を行いました。このシュミュレーションは、大地震が発生し、電気・ガスが止まり、雨足も強まった想定の下、学校を避難所として誘導場所、仮設トイレ、物資の配置などをグループで話し合い決定していくものです。今回の活動については、市職員、市社会福祉協議会の職員、地域の防災士の方々に多大な協力をいただきました。



体育館で避難所運営ゲーム「HUG」を体験しました

秋浜区長の釜井さん(防災士)



防災士の伊藤さん(前遠塚区長)



防災士の坂本さんと市役所の橋川さん

避難時に必要な物を確認中!



取材に来ていた、稲垣アナウンサー  
石川テレビでその日に放送されました



## 「SDGs」を通して考える私たちの未来

10月26、29日、3年生総合的な学習でSDGsの講演会を行いました。26日は会宝産業より海外事業部、宮川裕基氏。29日は明和工業より金原竜生氏(白尾在住)を講師としてお迎えしました。会宝産業は第2回ジャパンSDGsアワード外務大臣賞を受賞した企業です。人間の血液の流れに例えてものづくりをする産業を動脈産業、後始末をする産業を静脈産業ということをお話いただきました。静脈産業がないと、地球は地下資源を使ってものづくり、使われたものは廃棄するしかなく、行き場所がなくなるということでした。金原氏は「明和工業のSDGsな取組~なぜ、明和工業はSDGsに取り組むのか~」と題したお話を聞かせていただきました。第2部は「キャリア設計と働き甲斐」というテーマで講師の金原さんの生き方に触れることで、3年生が自分自身の将来を感じる機会となりました。



たくさん質問をしていました



会宝産業(株)宮川さん



明和工業(株)金原さん



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



熱心に答えてくださいました

3年生が「SDGs」について長期にわたって取り組んだことは「広報かほく12月号 コミ☆スク コーナー」にも掲載されます。